

## 令和3年度 ジュニア・ジュエリーマスター学科試験問題

次の各文を読み（ ）内に最も当てはまる語句を（ア）～（イ）の中から1つ選び記号を解答欄に記入しなさい。

### 【貴金属素材・貴金属加工】

- (1) 銀 925%に銅 75%を加えた合金は( )と呼ばれる。  
(ア) スターリング・シルバー (イ) コイン・シルバー
- (2) K18 の地金を千分率で表すと ( ) %である。  
(ア) 850 (イ) 750
- (3) 糸ノコの 3/0 と 6/0 では ( ) の方が刃の幅が広い。  
(ア) 3/0 (イ) 6/0
- (4) ヤスリ目は、組ヤスリでは、中目、細目、油目の順に ( ) なる。  
(ア) 粗く (イ) 細かく
- (5) ヤスリがけ等の際に出る貴金属のクズは回収し、再利用のため ( ) を行う。  
(ア) 精錬 (イ) 圧縮
- (6) 重曹は弱アルカリ性で、貴金属表面の脱脂と酸洗い後の ( ) に使用する。  
(ア) 中和 (イ) 乳化
- (7) 接合の作業は主に「ロウ付け」、「( )」、「かしめ」の3種類である。  
(ア) 共付け (イ) プレス加工
- (8) 貴金属は、金、銀、プラチナ、パラジウム、オスミウム、ルテニウム、ロジウム、( ) の合計8種類の金属である。  
(ア) ゲルマニウム (イ) イリジウム

(9) Pt900 (Pt=900%+Pd=100%) の硬さや切削性を向上させるためには、Pdの一部を( )、あるいはCuで置き換えればよい。

(ア) Ru (イ) Ag

(10) 組成の750%がAuで、250%がAgとCuを同じ割合で混ぜたものである合金を( )・ゴールドと呼ぶ。

(ア) ピンク (イ) イエロー

(11) 造幣局の品位証明区分において、金製品は( )である。

(ア) 9品位 (イ) 6品位

(12) 貴金属を合金にするメリットは、硬さの向上、バネ性の付与、切削性の向上、( )、融点の下降、含有率と比重の下降である。

(ア) 耐熱性の向上 (イ) 色調の調整

(13) ドリル刃は高温の摩擦熱が伴う切削に優れている( )である。

(ア) 炭素工具鋼 (イ) 高速度工具鋼

(14) 酸洗いに使用する液には、一般に10%未満の希硫酸か、( )を用いる。

(ア) ピックリングコンパウンド (イ) 重曹

(15) 強アルカリ性である( )は劇物指定されており、取り扱いには十分な注意が必要である。

(ア) 水酸化ナトリウム (イ) 炭酸水素ナトリウム

#### 【宝石素材・宝石加工】

(16) 宝石の回転切断では( )砥粒の刃を使用する。

(ア) 炭化珪素 (イ) ダイヤモンド

(17) 宝石を( )する際に使う治具はファセッターと呼ばれる。

(ア) ファセット・カット (イ) カボション・カット

- (18) 鉄製、又は木製のコマをスピンドルの先端に装着して使用する機械を（ ）と呼ぶ。
- (ア) グラインダー (イ) 細工台
- (19) 遊離砥粒の管理では、先ず（ ）の混合を避ける。
- (ア) 粒度 (イ) 潤滑油
- (20) 小割切断機は（ ）とも呼ばれ、宝石素材を湿式法で切断する機械である。
- (ア) グラインダー (イ) トリムソー
- (21) 研磨砥石は「砥粒」、「空孔」、「（ ）」の3つの要素で構成されている。
- (ア) 結合剤 (イ) 研削液
- (22) 宝石がある一定の方向に割れやすい性質を「（ ）」と呼ぶ。
- (ア) 劈開 (イ) かつこみ
- (23) 天然トパーズのモース硬度は（ ）である。
- (ア) 6 (イ) 8
- (24) 宝石の三要件とは、秀美性、耐久性、（ ）である。
- (ア) 希少性 (イ) 親和性
- (25) ダイヤモンドの評価基準となる4Cとは、カラー、カラット、クラリティー、（ ）の4項目のことである。
- (ア) クリアランス (イ) カット
- (26) 同種の天然宝石とほとんどあるいは全く同一の化学組成、物理特性、内部構造を有し、一部あるいは全体を人工的に生産した物質を（ ）と呼ぶ。
- (ア) 模造石 (イ) 合成石

(27) カボション・カットした宝石に強い光を当てた場合に、表面に二本以上の光の筋が浮かび上がる現象を（ ）と呼ぶ。

- (ア) アステリズム (イ) ラブラドレッセンス

(28) 宝石の重量を表す単位は貴金属の単位と区別するためにメートルカラットと呼ばれ、ct (カラット) で表す。1ct は（ ）g である。

- (ア) 0.2 (イ) 2

(29) ブリリアント・カットを例にカット部位の呼称を説明したとき、ガードルを基準にクラウン側とパビリオン側に分かれるが、このときキューレットは（ ）側にある。

- (ア) クラウン (イ) パビリオン

(30) 貴金属加工で使用するヤスリは一般的にモース硬度5である。ジュエリー加工の際、ヤスリが当たると安易に傷がついてしまう石は（ ）である。

- (ア) ルビー (イ) 真珠

#### 【デザイン】

(31) 黄金比率は[1 : ( )]となる比率である。

- (ア) 1.414・・・ (イ) 1.618・・・

(32) 色の要素のうち、明度は色の（ ）の度合いを表す。

- (ア) 明るさ、暗さ (イ) 鮮やかさ、鈍さ

(33) レンダリングは（ ）によって描かれた完成予想図である。

- (ア) 透視図 (イ) 平面図

(34) リングの三面図の描き方は、真上、真正面、（ ）からの三図である。

- (ア) 真横 (イ) 真下

(35) CADとは Computer Aided ( )の略語である。

- (ア) Deform (イ) Design

**【商品】**

(36) ネックレスの一種で飾りを下げるタイプを「ダングル」、「( )」と呼ぶ。

- (ア) ペンダント (イ) タイ・ホルダー

(37) ブローチ金具に多く見られるのは「鉄砲式」と「( )式」である。

- (ア) スクリュー (イ) 風車

(38) アンクレットは足首に装着する装飾品で、構造はブレスレットや( )に同じである。

- (ア) アームレット (イ) ティアラ

(39) 耳に穴をあけ、針を通すタイプのイヤリングを( )と呼ぶ

- (ア) ピアス (イ) スティックピン

**【流通】**

(40) PL法とは( )法のことである。

- (ア) 消費者保護 (イ) 製造物責任

(41) 産業財産権は特許権、意匠権、実用新案権、( )で構成されている。

- (ア) 商標権 (イ) 著作権

**【生産管理】**

(42) 顧客にとってどのような製品が必要かを予測して生産することを( )と呼ぶ。

- (ア) 受注生産 (イ) 見込み生産

(43) 消費者の需要を喚起するための作業のことを( )と呼ぶ。

- (ア) プロモーション (イ) マーケティング

**【ジュエリー文化史】**

(44) 弥生時代では、青銅、鉄、( ) を素材として用いた装身具が現れた。

- (ア) 金 (イ) ガラス

(45) 安土・桃山時代～江戸時代初期になると ( ) 製の指輪、ブローチ、ペンダント等の装身具が現れる

- (ア) 東洋 (イ) 西洋

(46) 1900年 御木本真珠店がパリ万博に ( ) を出品する。

- (ア) 半円真珠 (イ) 真円真珠

**【ジュエリー産業史】**

(47) バブル経済下、本物、高級、( ) 志向の消費ブームが起こった。

- (ア) カジュアル (イ) ブランド

(48) 1973年には ( ) 製品の輸入自由化がなされた。

- (ア) ダイヤモンド製品 (イ) 金製品

**【山梨におけるジュエリー産業の変遷】**

(49) 享保年間、甲府市金櫻神社の社宝である ( ) が加工された。

- (ア) 火の玉、水の玉 (イ) 日の玉、月の玉

(50) 大正時代、山梨県産水晶の枯渇に対処するため、( ) より水晶原石の輸入が始まった。

- (ア) スリランカ (イ) ブラジル

令和3年度 ジュニア・ジュエリーマスター学科試験解答用紙

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
ア	イ	ア	イ	ア	ア	ア	イ	ア	イ

(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)
イ	イ	イ	ア	ア	イ	ア	イ	ア	イ

(21)	(22)	(23)	(24)	(25)	(26)	(27)	(28)	(29)	(30)
ア	ア	イ	ア	イ	イ	ア	ア	イ	イ

(31)	(32)	(33)	(34)	(35)	(36)	(37)	(38)	(39)	(40)
イ	ア	ア	ア	イ	ア	イ	ア	ア	イ

(41)	(42)	(43)	(44)	(45)	(46)	(47)	(48)	(49)	(50)
ア	イ	ア	イ	イ	ア	イ	イ	ア	イ

各問2点、 50問×2点=100点

受験番号	
------	--

得点